特定複合観光施設導入推進事業費

【IR推進室　予算額 120,338千円】

事業の目的

○ 特定複合観光施設（IR：統合型リゾート）の区域認定に向けて、事業者の公募・選定を実施

事業の概要

【H31の主な取組】

- IR整備法、基本方針及び実施方針の内容をふまえた、**事業者の公募・選定の実施**
- 県民説明会等の周知活動を通じた**県民理解の促進**
- 九州各県・経済界等との連携や、各種要望活動等による**広域連携・機運醸成**

◎H32の想定スケジュール

区域整備計画の作成、認定申請

特定複合観光施設（IR）とは

国際競争力の高い滞在型観光を進めるために、民間事業者が設置・運営する観光施設

- ①国際会議場施設
- ②展示施設等
- ③魅力増進施設（ショーケース）
- ④送客機能施設（ゲートウェイ）
- ⑤宿泊施設
- ⑥その他の施設（エンターテイメント施設等）
- カジノ

多様な産業に波及

- 交流人口拡大
- 定住人口の増加
- 地域経済の活性化
- 雇用創出

（新）世界遺産でつなぐ・つながるプロジェクト事業費

【世界遺産課　予算額 9,670千円】

事業の目的

○「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産の保護を担う地域の活性化を図り、次世代につないでいくことを目指して、ふるさと教育や大学との連携を通した世代間・地域間の交流を促進するとともに、保護母体の育成等を支援

事業の概要

＜事業内容＞

●小中高・地元向けの学びの機会の提供

補助教材の提供や県職員によるサポートなど、小中高におけるふるさと教育との連携及び構成資産間の交流促進

↓

世界遺産を通したふるさとへの愛着や誇りの形成及び保護意識の醸成

●大学との連携

長崎大学・長崎県立大学と連携し、構成資産の所在する地域において、フィールドワークを実施

↓

大学と地域の協働による世界遺産の保存・活用の仕組みづくり

●保護母体の育成・活動支援

構成資産の保護を担う地域の活動を支援する市町に対する補助

↓

地域における保存・活用の活動継続のための課題検証や財源確保に向けた検討の促進

●調査研究機能の充実化

世界遺産としての価値を深めるための調査研究における長崎歴史文化博物館との連携、講演会の開催

↓

世界遺産に係る継続的な調査研究と成果の発信

住む人に誇りを、訪れる人に感動を
長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産

21世紀まちづくり推進総合支援事業費

事業の目的

【観光振興課　予算額 122,679千円】

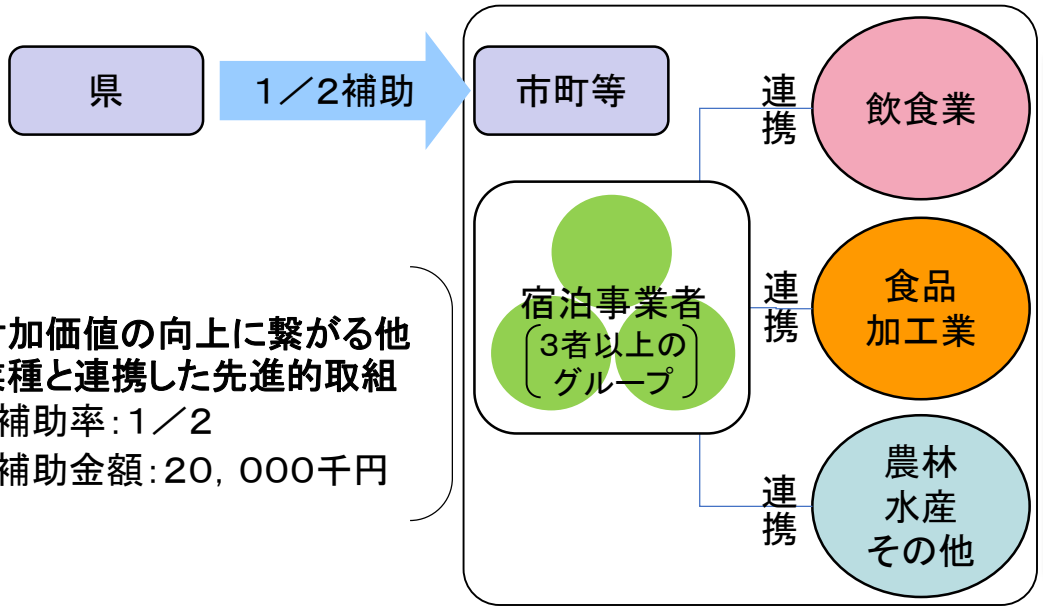
〇観光客の多様化するニーズ等への対応のために市町等が実施する「観光まちづくり」事業に対する支援に加え、新たに、宿泊施設が関連事業者と連携し魅力向上による高付加価値化を図る取組を支援

事業の概要

＜事業内容＞

（新）「長崎の宿」イノベーション創出事業

・宿泊施設が関連事業者と連携し魅力向上による高付加価値化を図る取組を支援



◆付加価値の向上に繋がる他業種と連携した先進的取組

〇補助率：1／2

〇補助金額：20，000千円

成果事例

◇複数宿泊施設の県産食材を活用した朝食一元化

◇食品加工業と連携し県産食材を活用した、セントラルキッチンの導入

◇複数宿泊施設の共同購買の仕組みの構築

◇宿泊施設が地元関係者と連携した体験プログラムや着地型旅行商品の開発

（新）「長崎の宿」品質・おもてなし向上事業費

事業の目的

【観光振興課　予算額 5,759千円】

○「観光の産業化」を図るうえで重要となる宿泊施設の品質・おもてなしの向上に向け、新たに「宿泊施設品質認証制度」を導入するなど、その向上に取り組む事業者を重点支援

事業の概要

＜事業内容＞

●サクラクオリティ（宿泊施設品質認証制度）導入への支援

・（一社）観光品質認証協会による宿泊施設品質認証制度を県観光連盟において導入

・制度推進のための説明会、認証に係る受験料の補助等

認証取得施設を中心に以下の支援を実施

●おもてなし向上セミナーの開催

・宿泊施設等のおもてなし向上を目的に、接遇やマナー等のセミナーや出前講座を開催

●ＯＴＡを活用した認証取得施設情報の発信

・じゃらん、楽天等で特設ページを開設

●観光事業者に対する表彰制度の創設

・長崎県の観光、誘客、おもてなし等に顕著な貢献があった個人、団体について表彰

〔サクラクオリティとは〕

世界中の旅行者が安心で快適な旅行を楽しめるよう、申請のあった宿泊施設などの観光サービスの品質を第三者が評価し、品質の高さを認証する仕組み

（新）県民おすすめグルメ店情報発信事業費

事業の目的

【観光振興課　予算額 1,547千円】

〇観光客の食の満足度向上を図るため、ホテルマンなど観光のプロに「観光客におすすめしたいグルメ店」を選定してもらい、冊子・WEB等により発信

事業の概要

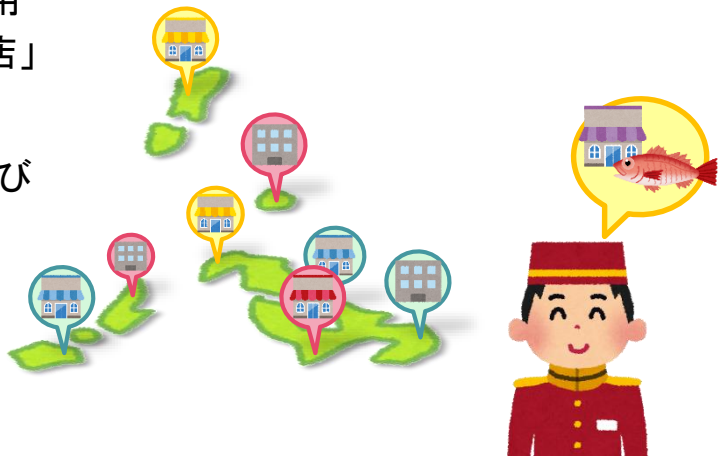
＜事業内容＞

●「観光客におすすめしたいグルメ店」選定と発信

・食に精通した観光のプロ（ホテル関係従事者、タクシー運転手、観光案内所、地元ガイド、旅行会社など）の投票により、長崎和牛や新鮮な魚など本県ブランド品を活用した料理を提供する「観光客におすすめしたいグルメ店」を選定（県内100店舗程度を選出予定）

・ホテル、観光案内所、主要交通拠点への冊子配布及び「ながさき旅ネット」特設ページで情報発信

・投票は3年に1度実施予定



（新）観光の「ミライ☆ニナイ」手育成事業費

事業の目的

【観光振興課　予算額 2,402千円】

〇明確なジョブイメージを持って観光関連産業に就職し、将来にわたって活躍できる人材の確保・育成を図るため、県内高校生を対象に観光をテーマにした講座等を実施

事業の概要

＜現状と課題＞

・観光関連産業は就職先として「選ばれにくく（『接客・給仕の職業』の充足率9.6%）」「定着しにくい（『宿泊業、サービス業』の高卒者の３年以内離職率67.0%）」（数値は平成30年度長崎労働局調べ）という現状

・労働条件や給与面でのマイナスイメージを持たれていること、働き方改革や処遇改善に取り組んでいる宿泊施設の情報が伝わっていないことなどが課題

＜事業内容＞

●明確なジョブイメージを持った観光人材の育成「ミライ☆ニナイ塾（仮）」

・ホテル業界に関心のある高校生と処遇改善等の課題解決に取り組む宿泊施設とのマッチングにより、両者間にある現状とイメージのギャップを解消

・高校２年生を対象に、県内宿泊事業者や首都圏に一流ホテルマンによる講座、高校の卒業生を中心とした若手従業員との交流会や保護者を招待したホテルランチ会、インターンシップの受入等を実施

（新）ディスカバーNAGASAKIグローバルキャンペーン事業費

【国際観光振興室　予算額 7,968千円】

事業の目的

〇インバウンドのFIT化（個人旅行化）が急速に進展するなか、FIT客の本県への誘客拡大を図るため、滞在型観光へ繋げるための戦略的情報発信を実施

事業の概要

＜事業内容＞

・インバウンドの誘客に積極的に取り組む「地域」を市町とともに育て上げて優先的に情報発信し、観光まちづくりの成功事例を創出

●コンテンツの磨き上げ

ターゲット市場を設定し、官民が連携した「マーケティング研究会」を開催

●訴求度の検証

日本政府観光局（JNTO）による市場調査、ターゲット市場からの調査型ファムツアーの実施

ターゲットへ情報発信

◇県事業としては1地域あたり1年間の実施（平成31年度は2地域の予定）とし、2年目以降の情報発信・コンテンツの磨き上げについては、地域主体の取組に引き継がれることを想定

スポーツコミッション事業費
（ラグビーワールドカップ2019公認チームキャンプ受入関係）

【スポーツ振興課　予算額 76,864千円】
うち 20,482千円

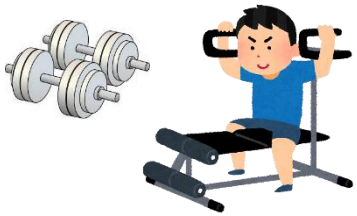
事業の目的

○ 今年9月～11月に日本で開催されるラグビーワールドカップ2019大会の公認チームキャンプ地として、スコットランド代表チーム（長崎市）、トンガ代表チーム（島原市）を迎えるにあたり、各自治体で必要となる設備等の整備を支援

事業の概要

○ キャンプにあたり、一時的に整備が必要な経費について、県市折半で費用負担

- トレーニング機器レンタル
- 目隠しフェンス設置、撮影台等
- 天然芝拡張工事（長崎市総合運動公園）



今後のスケジュール	
４～８月	受入れに必要な設備等の整備
９月	スコットランドチームの公認チームキャンプ（長崎市）
９～１０月	トンガチームの公認チームキャンプ（島原市）